

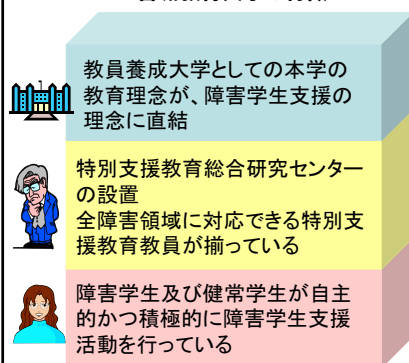
国立大学法人 宮城教育大学

平成20年度学生支援GP

「障害学生も共に学べる総合的学生支援」

宮城教育大学における障害学生修学支援の背景

<宮城教育大学の特徴>



<障害学生の在籍>

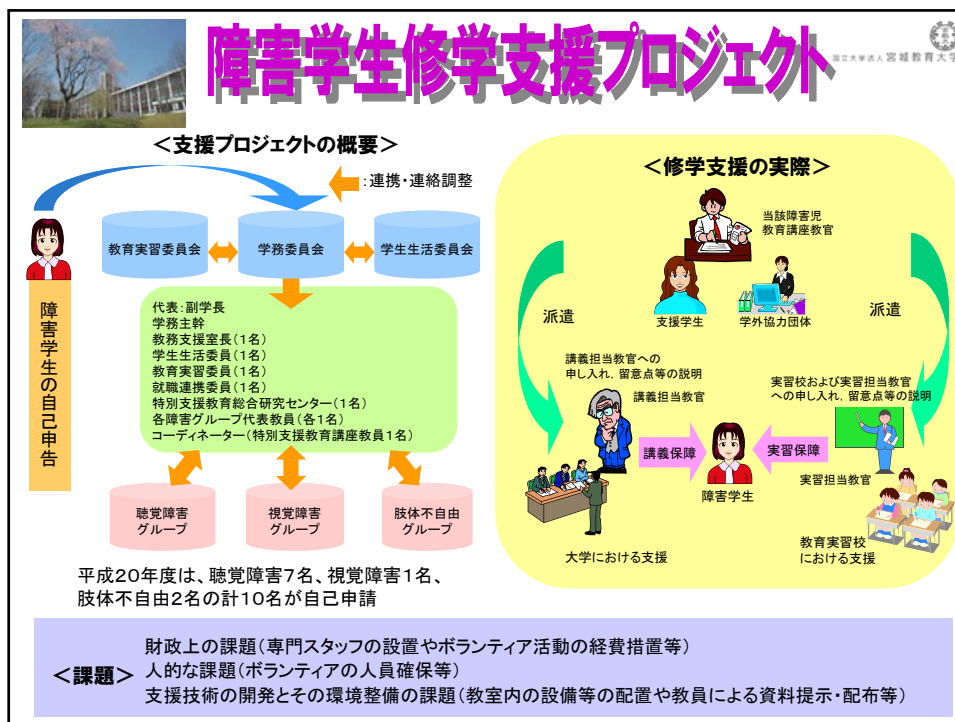
以前は障害学生の在籍人数が数名程度

障害学生修学支援プロジェクトの発足当初
以下の障害学生が在籍
肢体不自由1名
視覚障害1名
聴覚障害4名の計6名

障害学生の増加、多様化

支援を必要とする障害学生が今後も増えることを想定・在籍中のニーズの変容も生じる可能性
障害学生に対する人的支援が学生主体のボランティア活動に依存してきた実状

障害学生修学支援プロジェクトの発足へ



障害学生支援技術 開発促進事業

<従来の取組の継続>

<各障害グループの支援拡充>

本学の最重要課題

<聴覚障害学生支援メニューの拡充>

障害学生支援コーディネーター
(2名)の配置



教員



復唱者



修正者



文字表示

音声認識技術を活用した通訳システムの開発・実施



マイク



誘導コイル装着の補聴器

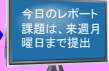
FM・無線発信機

受信機

聴覚補償システムによる
支援の実施



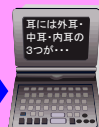
要約筆者



文字表示



入力者



文字表示

OHCによる支援・パソコン通訳による
支援の実施



字幕制作者



字幕作成システムによる
支援の実施